

# 矢作川流域圏懇談会通信

H26 川部会編 vol. 7



発行日：平成 26 年 11 月  
編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

## ◆第 23 回川部会WGを開催しました！

第 23 回川部会WGでは、今年度 2 回目の地先モデルの検討を行いました。岡崎市で活動している「青木川を守り美しくする会」、豊田市で活動している「梅坪水辺愛護会」を訪問しました。

日時：平成 26 年 11 月 14 日（金）13:30～16:50  
集合場所：愛知環状鉄道 大門駅  
調査場所：常磐学区市民ホーム（青木川を守り美しくする会）  
豊田市職員会館（梅坪水辺愛護会）  
参加者：13名（事務局含む）



## ◆主な意見交換内容（・意見 ▶回答）

### 1. 地先モデルアンケート結果の報告



バス移動中に、事務局より地先モデルアンケート結果の報告がありました。その中で「家下川を美しくする会」の伊奈氏より、活動上の課題を伺いました。

- 主な活動内容は、家下川の中の草刈り、竹を切ったりゴミを拾ったり、遊歩道や広場をつくったりしている。
- 草刈り機をしようするため燃料費がかかり、活動費が不足している。
- 斜面の草刈り大変であり、行政の協力がほしい。
- 役員の若手不足。町や市を動かすためにも、町内会長など力のある人をメンバーに入れたい。

#### 【意見交換】

- ・行政の協力とは、国、県、市などか。（事務局）
  - ▶ 国や安城市と豊田市をお願いしている。（伊奈）
- ・切った竹はどうするのか。（事務局）
  - ▶ どんど焼き用に 300 本くらいを使って、残りは小学生の竹馬にもして全部使う。笹はゴミとして岡崎市の環境部のごみ対策課に取りに来てもらう。河川課から環境部をお願いしてもらっている。（伊奈）

### 2. 青木川を守り美しくする会との意見交換



常磐学区市民ホームで、「青木川を守り美しくする会」の中根氏より、活動内容や課題などを伺い、意見交換を行いました。

- 常磐小学校では、環境学習で青木川を勉強の場にしてもらい、常磐中学校では、環境美化活動と地域奉仕活動として青木川の清掃に参加してもらっている。
- 主な活動内容は、ゴミ拾い、草刈り、青木川沿いに桜を植樹したり、5 月初旬頃にアユを放出、8 月のアユ釣り大会で子どもたちに青木川に関心を持ってもらおうとしている。
- 清掃活動は、6 月に小、中学校の青木川の草刈りとゴミ拾い、7 月末に滝町住民総出の青木川の草刈り、最近では任意で 11 月初旬に青木川のゴミ拾いをした。
- 役員の若手不足。町や市を動かすためにも、町内会長など力のある人をメンバーに入れたい。



#### 【意見交換】

※青木川：青木川を守り美しくする会のメンバー

- ・課題や活動の問題はあるか。（事務局）
  - ▶ 青木川の汚濁の問題は家庭排水だと思う。今は新しく家を建てられるときは合併浄化槽にするが、それ以前に建てられたところの家庭汚水はそのまま川に流れてしまうので、その点が問題である。（青木川）
- ・第二東名、ゴルフ場、酪農家の尿尿、家庭廃水が問題あるということか。（事務局）
  - ▶ 酪農家が 2 軒あり、なるべく汚水を流さないようお願いしているが、雨が降ると沈殿槽の水がオーバーして、川に流れることがある。（青木川）
  - ▶ 今年は川の色が茶色になってあまりよくなかったが、問題がはっきりしなかった。第二東名の工事で白濁水が流れてきて、沈砂池から漏れている部分があったので善処してほしいと施工業者をお願いするなど発生毎にやっている。（青木川）
  - ▶ 新築は合併浄化槽だが、昔からあるところは単独浄化槽で生活排水が出る。酪農家については、市が指導もしており今は問題ないと思う。（岡崎市）



- 地質的にマンガンがあり、ゴルフ場の調整地などが黒っぽい時もある。マンガンは有害物質には入っていない。農業関係は抜き打ちで年2回は行って、1度も問題だったことはない。(岡崎市)
- ・草刈りの範囲はどれくらいの延長か。
  - 天王橋～バイパス近くの橋区間の2kmくらいである。70台くらいの草刈り機で刈る。(青木川)
- ・費用はどこから出なのか。
  - 市と県からの補助が、活動費の3割くらいである。残りは町内会から出している。(青木川)
- ・常磐地区13町全体でやるのか。(事務局)
  - 滝町の420軒の98%くらい、一軒に一人くらい出ただいて奉仕活動をしている。(青木川)
- ・刈った草はどうしているのか。(事務局)
  - 町で出るものは膨大になるので、その対応が今後の問題である。アルミ缶、ペットボトルなどのゴミは市にお願いするが、草は大変な作業になるため、市には要望していないのが現状である。(青木川)

### 3. 梅坪水辺愛護会との意見交換



豊田市職員会館で、「梅坪水辺愛護会」の小野氏より活動経緯・内容などの説明を伺い、意見交換を行いました。

- 現役世代が中心になっており、30～50歳代の若い世代が中心となる30人で活動しているが、以前より人数が減少しており、後継者が不足している。
- 河川敷の草刈り、ゴミ拾い、冬場は竹林の手入れを中心にしている。消防署に届け出をして、その場で河川敷の中で焼却処分している。矢作川のところに細長く800mくらいの竹林があるが、最近はなかなか手入れができない。
- 豊田市のわくわく事業補助金で必要な機材を確保してきた。しかし、わくわく事業はいつまで続くかわからないし、地域で割り振られているため申請しても補助されない可能性があるため、形で機材の保障があると安心して活動できると思う。豊田市河川課と連携しているから報奨金があるため、消耗品などの購入に使用している。
- ゴミの不法投棄の問題があり、ほとんどがバーベキューのゴミである。網やいすをそのまま捨てていく人がいる。
- 河川敷の草や竹林の中などには、タイヤやオートバイなどが捨てられていることもある。きれいにしているところには捨てにくいのか、バーベキュー以外の不法投棄ゴミは減っている気はする。
- 河川敷駐車場の車止めのカギを壊したり、チェーンを切断されるなどの問題が、年2、3回発生する。
- 出水で高水敷に水が上がることによって河川敷が水没してしまうことがあり、土が変わって、昔は砂地で生えにくかったが、今は肥沃になって草が生えやすくなっている感がある。

#### 【意見交換】

※梅坪：梅坪水辺愛護会のメンバー

- ・そもそもなぜこの場所を草刈りをする必要があるか。(山本)
  - ゴミの不法投棄の問題がある。バーベキューをする人も増えたので、地域で活動する中で、水辺にもう少し手入れをしようと、水辺愛護会の活動を始めた。(梅坪)
- ・会費はあるか。各回の参加者は何人程度か。(菅原)
  - 会費はなく、報奨金で賄っている。大体半分の15人程度が参加するが、基本的にはボランティアでやっているから大変。(梅坪)
- ・ゴミの不法投棄は、どうしているか。(山本)
  - 豊田市の自治振興課に電話すると、不法投棄ゴミを回収してくれる。(光岡)
  - 市の河川課に連絡すると後日、業者がやってきて回収してくれる。(梅坪)
- ・河川ゴミの対策は何かしているか。(事務局)
  - 看板を立てる程度。河川パトロールで通ってもらうようにもしている。(伊藤)
- ・1日の活動時間はどれくらいなのか。(菅原)
  - 2～3時間程度。朝8時から10時までの予定にしているが、草が多いと結構時間がかかる。(梅坪)



### 今後の川部会 WG の予定



- 第24回(本川・家下川モデル)  
日時：平成26年12月22日(月)  
内容：矢作川の土砂の問題について  
これまでの活動のとりまとめ

- 第6回川の地域部会  
日時：平成27年1月16日(金)  
内容：今年度の活動成果報告について  
来年度の活動計画について



#### ◆お問合せ◆

##### 矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 西原、建設専門官 真柄  
TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8100

\*矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト(yahagigawa@ijinet.or.jp)までお送りください。

